

令和5年9月22日（金）

己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ

これは、今から 2500 年前の孔子の言葉の一つです。斎藤孝著の「こども論語」から紹介します。

もし、自分がいじめられたり、人から無視されたら、誰だって本当にいやだと思うよね。だったら、相手の立場になって、人に意地悪したりウソをついたり、悪口を言わないようにしようと孔子先生は言っている。

いつも「じぶんがやられたらどうだろう？」と思って、自分がやられているいやなことは人にしないようにしようというのを一生のルールにできたら、それだけでその人は「君子」、つまり「立派な人」なんだ。

「自分がされていやなことは、人にもしないようにしよう」というのは、簡単なことのようにだけど、なかなかできることじゃない。孔子先生の言葉は、一つ一つが一生をかけて達成していくものだから、大人になったときにも、ああ、自分がやられていやなことは人にもしないようにしようと思っていれば、一生間違いがない。「そんなゲーム、ぜんぜんつまらない」って言うより、「けっこう面白いじゃん」と言ってあげたほうが、自分も友達も笑顔になれる。

自分がやられたらどうだろう？と考えてみよう。